

表紙のことは

逍遙の郷 手芸クラブ「赤富士と桜」



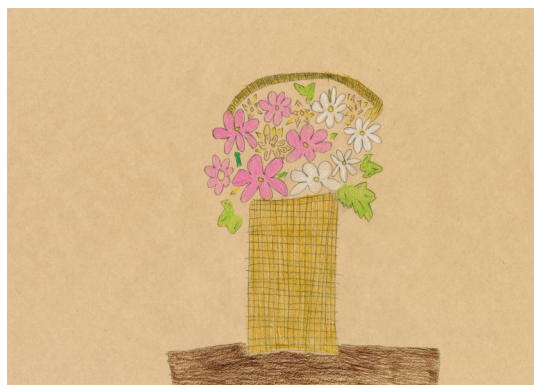
この作品は、「介護老人保健施設 逍遙の郷」の手芸等が大好きな入所利用者が集まり、完成させた共同作品です。週1回の「手芸クラブ」では定期的に共同作品をつくっており、今回は「富士山と桜」をテーマに、お花紙を丸めてつくる「お花紙アート」に決定しました。

お花紙をある程度丸め、下絵を描いた台紙に貼り付けると、まだまだ足りないことが判明。「手芸クラブ」の時間以外にも、暇さえあれば、クラブに参加していない利用者や職員までも協力してひたすら丸めていました。徐々に絵ができてくると、「あと何色がどのくらい足りない?」、「ここに貼った物が取れているよ」等の積極的な発言が多くなっていました。完成し、遠くから眺めたときは、皆で「上手にできたね」と褒め合い、今まで以上に絆が深まったような気がしました。(担当 OT: 堀口)



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



塩野美樹子「花びんの花」

花瓶に生けたコスモスの花を描きました。私は、ピンクのコスモスが好きだけどオレンジやむらさきや黒よりも一番きれいだと思います。家で植えたコスモスも手をかけていてかわいいと思います。

「秋桜」の山口百恵ちゃんの歌を思っで描きました。山口百恵ちゃんの歌もなつかしく思えました。「秋桜」の歌と絵が好きだからだと思います。

今回選ばれてすごいなと思いました。これからもっと良い絵を描いていきたいです。